

## 「結束バンドを活用した」相性最悪タイヤの交換方法

416 ながぬま

タイヤとの相性が悪くチューブ交換の度に悪戦苦闘。出先でのパンクを考えると恐ろしくて使えない、と言ったことはよく見聞きします。本件はこれら嵌めにくいホイール、タイヤを、結束バンドを活用することで、その交換作業を容易に行う方法について解説するものです。是非皆様にもトライして頂けましたらと投稿致しました。

### 使用したホイールとタイヤ

ホイール；

シマノアルテグラ（WH-6800）

※クリンチャーとして使用

タイヤ；

Continental Gatorskin 32C

チューブ； 適宜



### 用意するもの、ツール

○結束バンド； 5～6本

長さ 15 cm、厚み 1.2～1.5mm位（ごく普通の厚み）

※繰り返し使えるタイプがお勧め

（本品はダイソーにて 110 円で購入）

普通の結束バンドでも OK

ただし最後に切断が必要（後述）

○タイヤレバー； 1本

嵌める時は 1本で OK



### 事前準備

用意した結束バンドを中央で半分(32C の例)に折り、折くせを十分に着ける。

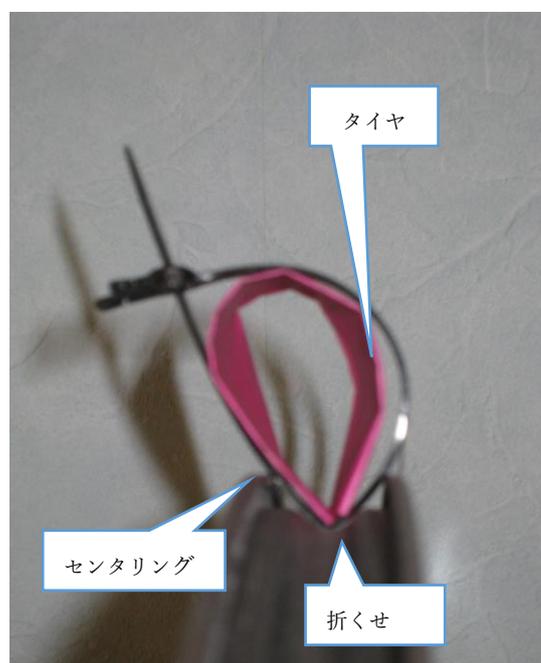
※折くせを付ける位置はタイヤの太さで調整して下さい

同じものを 5～6 本用意する

### 結束バンドの役割

タイヤビードの両端を密着させ、タイヤ周長断面を●形に保つと共に、結束バンドのテンションで、リムに対しセンタリング機能を働かせる。これによりリム中央部分へのビード落とし込みがより確実になる。

※一般にタイヤビードをリム中央へ、こまめに落とし込むとうまく嵌められると言われてはいますが、経験に伴うスキルが必要で、実際はなかなかうまく行きません。



## 作業内容（タイヤを嵌める時）

### 1) タイヤにチューブをセット

タイヤのロゴにチューブのバルブを合わせ（バルブをロゴの反対側にセットする人もいます）、チューブ全体を、よじれを除きながら、まずタイヤに入れます。

この時チューブには空気は入れません。

※通常、タイヤビードの片側をリブに嵌めることから始めますが、ここでは行いません。



### 2) 結束バンドでチューブ入れたタイヤを固定

バルブを中心に両側に、タイヤ周長の 1/2 位までを結束バンド 5~6 本で固定する。

バンドの折くせにタイヤの両側ビードを合わせ

●の形になる様バンドを締める。



### 3) ホイールへの嵌め込み

ホイールのバルブ穴にチューブバルブを入れ、リブへタイヤを嵌め込んで行きます。(タイヤの両側ビードを同時にリブに嵌めることになります)

バルブの反対側（写真では上方）に最後のはめ込み部分が来る様、手で無理なく入れられるところまで嵌め込みます。

●の形がうまく出来ていれば、ビードの落とし込みをほとんど意識することなく進められます。

なお、手でののはめ込みの最終段階では、タイヤの両側ビードとチューブはホイールの手前にあります。



#### 4) 後側タイヤビードのリブへの嵌めこみ

次は後側の嵌め残しタイヤビードをタイヤレバーでリブに嵌めます。

これは割合簡単には嵌ります。後ろビードが入ったら、はみ出しているチューブをホイールに入れます。

※この作業ではタイヤレバーでチューブを傷つける心配はありません。



#### 5) 前側タイヤビードのリブへの嵌めこみ

最後は、前側タイヤビードを、タイヤレバーを使いリブに嵌めます。

これも簡単にはまります。ここまででタイヤがホイールに嵌りました。

※この作業ではチューブを傷つけぬ様、注意が必要です。



#### 6) 結束バンドの取り除き

結束バンドの爪を解除し、バンドを引き抜きます。これで交換作業は終わりです。

解除爪でない普通の結束バンド使用の場合は、ニッパーやナイフで切り取り、引き抜きます。

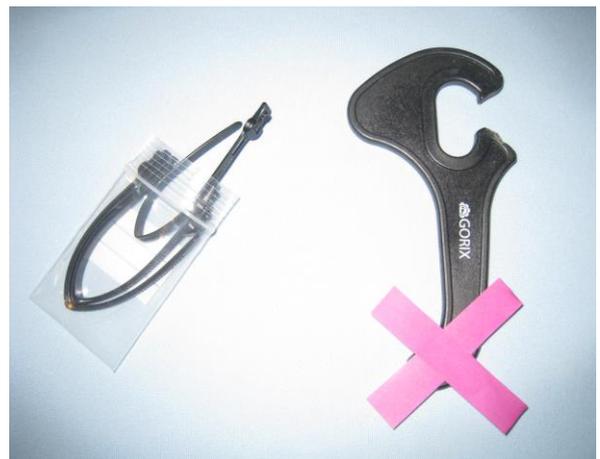


#### 7) 終わりに

今までは相性の悪いホイールとタイヤでのサイクリングはひやひやものでしたが、このような結束バンドを携行することで安心して出掛けられます。人と一緒のサイクリングも怖くありません。リブ落としのための、ごついツールともおさらばです。

なお、WH-6800 とパナレーサーグラベルキング 26C の組み合わせでも良好な結果が得られています。

また、私はチューブレスタイヤを持っておりませんが、チューブレスでもお試してください。



補足；

### ○ビニールテープで行う方法

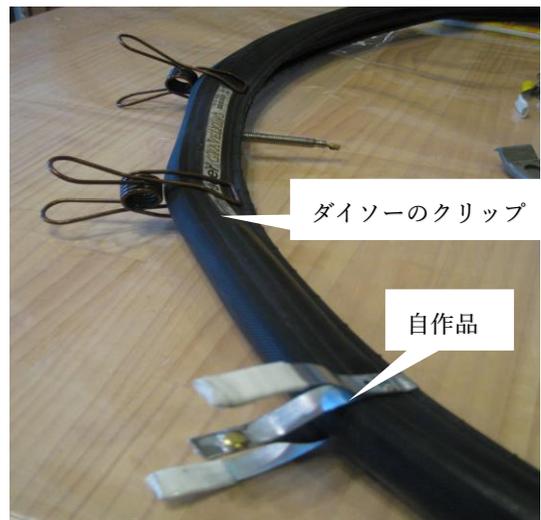
結束バンドに代えてビニールテープでもやってみました。うまく行きました。ホイールにはめ込んだ後、テープを斜めに引く抜きます。そのためテープ片側をあらかじめ長めにカットして貼り付けておきます。



### ○クリップを活用する

嵌める時嵌めにくいタイヤは、一般的に外す時も大変です。嵌める時や外す時双方を考えると大型のクリップを活用する方法があります。5、6個も携行するのは嵩張りますが、自宅での交換には便利です。

写真はダイソーで購入（2個 110円 X3）したものです。クランプのストレート部分をくの字にペンチで曲げ加工しました。



【いろいろ説明させて頂きましたが、要はタイヤ周長の半分くらいを▲形にしてやれば、かなり嵌めにくいタイヤも、そう頑張らなくてもレバー一つで。レバーを使えば入っていたものは、レバーを使わなくてもすんなり嵌るといことが判りました】

---どうぞお試しください---

